

しんぶん
赤旗

日刊 ●月 3497円
日曜版 ●月 990円

南地域後援会は本町・寿・緑・若松・栄・白山・船戸・新田がエリア

連絡をいただければ「しんぶん赤旗」の見本を届けます



しらかば

日本共産党我孫子南地域後援会
発行責任者 木村 文次

太陽光発電のある自然エネルギー活用生活

地球温暖化は、もはや待ったなしの段階です。市内で活動している「自然エネルギーをすすめる会」の佐々木会長に活動の紹介をお願いします。

- またあの夏の猛暑がやってきます！温暖化は何とかならないか！電気代は上がる！自然エネルギーの活用で少しマシな暮らしに変えたい！！太陽光発電の利用はどうか？と考える人の参考にすべき事項は以下の諸点です。
- 1 屋根の状態など設置する上での制約
 - 2 どのくらいの太陽光パネルを設置すればよいか
 - 3 パネルメーカーの選択はどこの？
 - 4 蓄電池設置は必要か？
 - 5 補助金の活用は？
 - 6 経済性は？設置して何年で費用回収できる？

のも結構ですが、「自然エネルギーをすすめる我孫子の会」の屋根貸し・自己資金ゼロの市民発電所は別形態の設置方法なので問い合わせをして下さい。左記QRコードやホームページをご覧ください。

我孫子の会は、革新懇会員も多く参加する会でもと若井市会議員や革新懇が中心で活動してきたグループと、内田市議員が中心で活動するグループが合同して、市役所も巻き込んで、11を契機に設立した団体です。

自然エネルギーをすすめる我孫子の会ホームページ
<https://shizen-energy.org>
QRコードはこちらから。→

の活用を目指して設立された団体です。市民出資や融資で費用を集めて、太陽光発電設備の設置を希望する施設や個人、安価で電力を供給する活動を進めています。

これまで市内の4つの福祉施設の屋根に太陽光パネルを設置して、電力を供給しており、さらに2か所が準備中です。

設置後は、15年間電力供給を受けて、東電よりも安価な電気代を支払うと、設備は無償で自分のものになります。条件は屋根を無償で貸すこと、15年間(近く)電気を使い続けることです。期間中の修理は無償です。

いっぽう寄付や出資資金の提供も呼びかけています。そこが市民発電所よりどころとなります。市民が自発的に参加し、自分や地域のために自然エネルギーを活用する活動です。ぜひ一緒にやってみましょう！！

(自然エネルギーをすすめる我孫子の会 佐々木)



日帰り散策のお知らせ

▼場所 葛飾柴又(小雨決行)
▼日時 5月31日(日)10:10我孫子駅改札前集合 (10:17発各駅停車に乗車予定、金町で京成に乗換、10:55柴又着下車)
▼見学 柴又帝釈天、寅さん記念館、山本亭など(昼食は柴又周辺の店で)
▼15:00頃解散予定

主催 日本共産党我孫子南地域後援会

日本の鳥 我孫子市鳥の博物館特別企画

我孫子市鳥の博物館では現在、特別企画として「日本の鳥」を開催しています。

我孫子市鳥の博物館

【開催時間】午前9時30分～午後4時30分
【休館日】毎週月曜日
【入館料】一般300円、大学・高校生200円、70歳以上(要年齢が証明できるもの)・中学生以下・障害者手帳をお持ちの方(含介護者1名)は無料
(緑S)

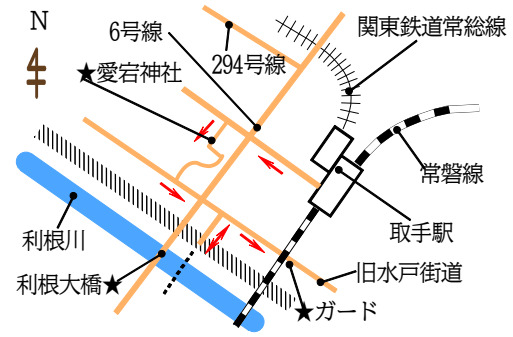
今回の展示は、これ

オオバン

♪屋根より高い鯉のぼり♪大きい真鯉はお父さん♪小さい緋鯉は子どもたち♪面白そうに泳いでる▼童謡「このぼり」鯉のぼりは江戸時代に武家で始まった端午の節句に、男児の健やかな成長を願って家の庭先に飾るのぼりですが、最近ではマンションなど集合住宅の増加で屋根より高い所に飾ることは難しく、「鯉飾り」が増えます▼歌詞によってはジェンダー平等に逆行する様にも思えますが、それはさておいて▼「このぼり」を作詞した近藤宮子は日本の唱歌作詞家。父は高等師範学校教授を務める国文学者、母は高等女学校の音楽教師。宮子の生き方は両親の影響が大きく見られます▼宮子の代表作「チューリップ」最後の一節♪この花みてもきれいだな♪当時満州事変が勃発、日本が暗い時代に突入していく中で「赤も白も黄色も、それぞれ美しき、良きがある、何事にもいいものがあり、特に弱いものには目を配りたい」との思いが込められています▼弱い者が切り捨てられる今、きれいな花が咲き誇る世の中に政治を変えなければ。

(S)

我孫子古道巡り 2024 取手宿を巡る④



今回は取手駅の西側を巡ります。

取手駅西口は歩行者デッキが設置され、商業施設とビルが立ち並びます。



取手駅西口歩行者デッキ

また駅西口からはJR水戸線の下館まで「関東鉄道常総線」が通り、並行して国道6号から分岐して国道294号が通ります。この沿線には「取手競輪場」や「キャンオン」などの工場があり、その先に「取手市役

所」があります。

デッキを降り西に向かい、国道6号を渡りすぐ先の小道を南に入ると「愛宕神社」です。大鹿村の旧村社で、元禄15年(1702)創立。祭神は過遇突知命。右に社殿があり、左に第87番地蔵堂があります。国道6号の建設により、国道の西側に移転しています。



愛宕神社社殿



第87番地蔵堂

石段を下り半時計回りに坂を下り、東に進み利根大橋の下をくぐります。橋に沿って土手を上がる

と、河川敷にはゴルフの打ちっぱなし場があり、かつて青山から取手を渡っていた「渡船場」がありました。



利根大橋とゴルフ場

戻り、旧水戸街道を東に進み、常磐線のガードをくぐります。江戸時代末期の



常磐線ガード

『利根川図誌』は「この里は、昔大鹿左衛門某が住みし跡なりとぞ。さては麓なる取手ノ宿は、それに因れる名なるべし」と書いています。(栄 関口) 参考文献「新四国相馬霊場八十八カ所を訪ねる」

しらかば文芸欄 44 下総の寺院・白山I



印旛郡栄町の龍角寺。伝説によれば和銅二年(709年)、天から龍女が来駕して一夜うちに建立したといわれています。昔、大龍の怒りに触れた小龍の体が頭・腹・尾の三つに裂かれて、三つの体が落ちた場所に龍角寺、龍腹寺(印西)、龍尾寺(匠瑳)とそれぞれ寺を建てて龍の身体を納めました。龍角寺には龍の角が祀られています。本尊は国指定文化財の「銅造



印旛郡栄町の龍角寺。伝説によれば和銅二年(709年)、天から龍女が来駕して一夜うちに建立したといわれています。昔、大龍の怒りに触れた小龍の体が頭・腹・尾の三つに裂かれて、三つの体が落ちた場所に龍角寺、龍腹寺(印西)、龍尾寺(匠瑳)とそれぞれ寺を建てて龍の身体を納めました。龍角寺には龍の角が祀られています。本尊は国指定文化財の「銅造

常磐線あれこれ 63

フレッシュひたちは増備を続け、2010年12月のダイヤ改正では「スーパードライ」が上り15本・下り16本、「フレッシュひたち」が上り18本・下り22本と、「フレッシュひたち」が「スーパードライ」を上回りました。このため「スーパードライ」の車両で運転する「フレッシュひたち」も登場しました。

この頃JR東日本から常磐線特急の再編計画が発表されました。計画では2012年から新型車両を投入して、春と秋に2段階で「スーパードライ」(651系)を全て置き換えるほか、い



「新緑の頃」 若松・高橋祥子



脱線した貨物列車

路線の1000m以上を、長期間にわたる不通を余儀なくされました。そして東日本大震災の被害を受けた路線のなかで最後まで不通区間が残ることになりました。特に福島第一原発20km圏

にあたる広野―磐城太田間は、爆発事故直後に立入禁止区域となって立ち入り自体ができなくなったことで、津波で流失した車両・駅舎・橋梁・高架橋・軌道などの復旧に長い時間(完全復旧は9年後の2020年3月14日)を要することになりました。(緑 竹内)